



リバーサイドカーニバル2018に出展しました。

2018年10月21日(日)、笠松町主催で毎年開催される「リバーサイドカーニバル2018」に、当院が出展しました。

リバーサイドカーニバルとは木曽川の自然を利用した住民参加型のイベントです。笠松みなと公園が会場となり、地域の方々をはじめ、地元団体や企業も多く参加しました。

当院からは、看護部と訪問看護ステーションが参加しました。看護部による、血圧測定をする健康セルフチェックやドクター・ナースなりきり撮影会、ハンドマッサージ体験を行い、訪問看護ステーションでは健康・介護相談や背中をさすように優しく触れるタクティールケア体験を行いました。今回のイベントを通じて、地域の方々が普段抱えている健康や介護に関する悩みや不安などを少しは解消できたと思っております。今後も、笠松町をはじめ地域のイベントに積極的に参加していきます。



▲ハンドマッサージ体験



▲タクティールケア体験



▲健康セルフチェック



▲ドクター・ナースなりきり撮影会

次のページは、呼吸器内科特集、日曜がん検診実施のご報告

Matsunami Information

NEWS

年末年始の診療について

当院の年末年始のお休みは、**2018年12月30日(日)～2019年1月3日(木)までです。**

つきましては、年内の外来診療は2018年12月29日(土)の午前診療まで行い、年明けからの外来診療は2019年1月4日(金)から開始します。皆さまのご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。なお、救急患者さんにつきましては、当院北館1階救急外来にお越しください。

講演会・セミナーのお知らせ

松ゼミ

(松波ナースングスキルアップセミナー)

医療職の方なら、
どなたでも参加できます

テーマ	アドバンス・ケア・プランニング ～その人らしく生きることを支えるケア～
日時	2018年12月7日(金) 17時30分～18時30分
場所	社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院 南館 1階 MGHホール
講師	がん看護専門看護師 がん性疼痛看護認定看護師 小園 典子
共催	羽島郡在宅医療サポートセンター

松ゼミ「認知症看護」の開催日変更のお知らせ

2019年1月31日(木) 17時30分～
2019年1月17日(木) 17時30分～
場所
社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院 南館 1階 MGHホール

がん患者・家族のつどい 2018年度年間計画

月	テーマ	講師
5月	チューブ体操	理学療法士
7月	がんのお話	消化器内科 伊藤康文 第二消化器内科部長
9月	フットケア	外部講師
11月	アロママッサージ	外部講師
1月	がんのお話	消化器内科 伊藤康文 第二消化器内科部長
3月	栄養のお話	管理栄養士
予備	メイクアップについて	

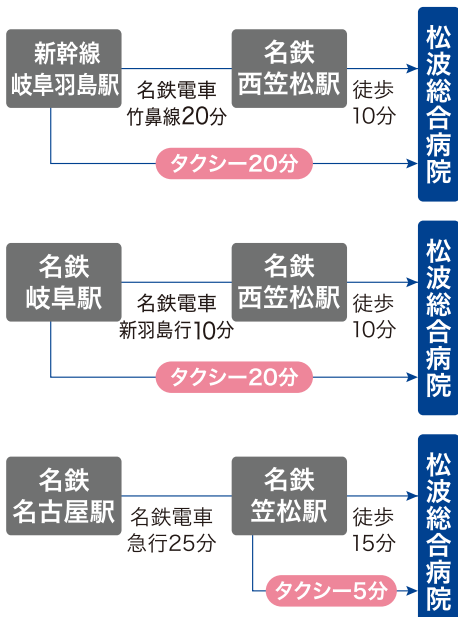
次回開催	2019年1月22日(火) 14時00分～
場所	社会医療法人蘇西厚生会 まつなみ健康増進クリニック 1階 化学療法室ラウンジ
お問い合わせ	058-388-0111(代) がん化学療法看護認定看護師 野々垣まで

クリスマスコンサート

日時	2018年12月15日(土) 14時00分～
場所	社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院 南館 1階 エントランスホール
出演者	岐阜県立岐阜高等学校 音楽部の皆さま



交通のご案内



社会医療法人蘇西厚生会
松波総合病院

〒501-6062
岐阜県羽島郡笠松町田代185-1
TEL 058-388-0111(代)
FAX 058-388-4711
<http://www.matsunami-hsp.or.jp/>



呼吸器内科特集 | 生命の危機に直結する呼吸器疾患から、患者さんを守ります。



呼吸器内科では、痰が絡まない空咳や息苦しさなどの症状が起きる間質性肺炎、空気の通り道である気管支や肺に障害が起きて、呼吸がしづらくなるなどの症状が起きる慢性閉塞性肺疾患(COPD)、肺炎球菌感染症や結核、非結核性抗酸菌症などといった呼吸器における感染症、そして肺がんや胸膜中皮腫などの胸部悪性疾患を主な対象疾患としています。特に、間質性肺炎、気管支喘息、COPDのそれぞれで起きる急性増悪、重症肺炎等の急性呼吸不全を引き起こす疾患については、当院の呼吸器内科の重要な疾患です。加えて、肺がんの診断と薬物治療が現在の診療の柱となっています。

肺がんの治療について、手術療法以外の薬物療法や放射線療法での治療をめざしていますが、現状では困難です。手術が必要な肺がんの患者さんに関しては、呼吸器外科と密に連絡を取り、診療にあたっています。そういったなかで、肺がんにおける薬物療法は年々進化してきており、特に最近では免疫チェックポイント阻害剤(そがいざい)と総称される免疫療法の良い成績が報告されています。当院でも、2017年度から免疫チェックポイント阻害剤によるがん免疫療法を導入しました。

そのほか、県内初の診療看護師、救急看護認定看護師、集中ケア認定看護師、慢性呼吸器疾患看護認定看護師、臨床工学技士、理学療法士、歯科衛生士の多職種で構成される呼吸ケアチームが活動しています。主な活動内容としては、毎週1回のチームでの病棟回診、毎月1回のミーティング、専門家を招いての勉強会やセミナーの開催などです。

当院の呼吸器内科は、部長1名と後期研修医1名の2名体制という小さな診療科ではありますが、可能な限り広範囲かつ高いレベルの診療を実施できるよう、これからも日々努力してまいります。

肺がんの種類と特徴

[末梢型：肺の奥にできる肺がん]



- ▲ **腺がん**
近年増えているがんで、非喫煙者の割合が高い。肺の奥の方の細かく枝分かれした腺組織が、がん化する。
- ▲ **大細胞がん**
他のタイプのがん細胞よりも大きいものを指す。肺がんの中で最も頻度が低いが、急速に大きくなったり、転移しやすいがん。

[中枢型：太い気管支にできる肺がん]



- ▲ **扁平上皮がん**
喫煙者に多く見られる肺がん。太い気管支の壁にできる場合もある。
- ▲ **小細胞がん**
進行が早く、早期に転移しやすい。抗がん剤や放射線療法が効きやすいがん。

呼吸器内科 患者数および診療実績 (2017年度)

患者の種類	件数	患者の種類	件数
紹介患者	148件	新規導入免疫チェックポイント阻害剤治療患者数	5件
気管支鏡検査	125件	2歳～15歳の喘息患者のうち、喘息に関連した原因で入院した症例数 ※ () 内の数字は、入院中に全身ステロイド処方された症例数	6件 (6件)
新規導入がん薬物療法患者数	33件	5歳以上の喘息患者のうち、喘息に関連した原因で入院した症例数 ※ () 内の数字は、入院中に吸入抗炎症剤の処方を受けた症例数	24件 (21件)
新規導入抗がん剤療法患者数	18件		
新規導入分子標的薬治療患者数	10件		

Profile 医師紹介



呼吸器内科部長
小牧 千人
(1990年 岐阜大学 卒業)

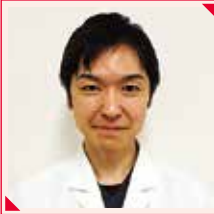
専門分野
▶ 呼吸器疾患 (特に肺癌の診断と治療(内科的))
▶ 肺感染症 ▶ 喘息

資格

- ・日本内科学会:認定内科医、総合内科専門医、指導医
- ・日本呼吸器学会:呼吸器専門医、指導医
- ・日本呼吸器内視鏡学会:気管支鏡専門医、指導医
- ・日本がん治療認定医機構:がん治療認定医
- ・日本臨床腫瘍学会:がん薬物療法専門医、指導医
- ・日本アレルギー学会:アレルギー専門医(内科)、指導医
- ・日本感染症学会:感染症専門医、指導医
- ・日本医師会:認定産業医
- ・厚生労働省:労働衛生コンサルタント

所属学会

- ・日本内科学会
- ・日本呼吸器学会
- ・日本呼吸器内視鏡学会
- ・日本臨床腫瘍学会
- ・日本肺癌学会
- ・日本感染症学会
- ・日本アレルギー学会



呼吸器内科医員
松尾 康博
(2015年 旭川医科大学 卒業)

専門分野
▶ 呼吸器疾患全般

資格

- ・日本内科学会:認定内科医

所属学会

- ・日本内科学会
- ・日本呼吸器学会

呼吸器内科 看護師の声

「呼吸が苦しくなる」ということは患者さんにとって、とても大きな不安になります。そこで、私たち看護師は、患者さんのお気持ちをよく理解し、苦痛や不安の軽減に努めています。近年では、在宅での酸素療法や吸入を行う患者さんなどが増加していますので、他職種と連携し、地域医療につながる継続的な看護を大切にしています。



病棟師長
木村 信子

平成30年度第2回目の「日曜日に乳がん検査を受けられる日」を開催しました。

2018年10月21日(日)に、「日曜日に乳がん検査を受けられる日(以降、日曜乳がん検診)」を行いました。当院では、「仕事や育児、家事、さらには親の介護などで、平日忙しく乳がん検診を受けるような時間がなく、休日に受診ができれば」という多くの声を受けて、今回で5回目となる日曜乳がん検診を開催しました。

当院での日曜乳がん検診の特徴として、セルフケアチェックができる「りぼんかふえ」がある点や、医師以外はすべて女性の職員が対応している点などです。このような体制であることで、どなたも安心して乳がん検査を受けることができます。募集定員の14名の方が受診され、休日に乳がん検査を受診することで、早期発見・早期治療の大切さの理解を促す良い機会になっています。



日本乳がんピンクリボン運動

J.M.S
ジャパン・マンモグラフィ・センター

2018年度賛同医療機関